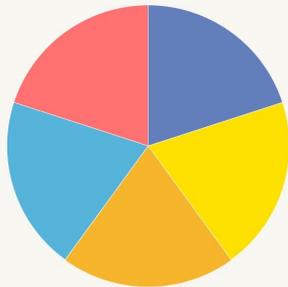


ビッグファイブ

ビッグファイブ理論とは、心理学的にも信ぴょう性が高いとされている性格分析理論です。日本だけでなく海外でも、採用や人員配置などの場面で活用されています。

何が理解でき、どのように活用できるのか？

ビッグファイブ



- 誠実特性
- 調和特性
- 開放特性
- 外向特性
- 情緒特性

ビッグファイブ理論は世界で最も活用される性格分析理論

ビッグファイブ理論は、1980年代に心理学者のルイス・ゴールドバーグ氏が提唱した性格分析理論です。ビッグファイブ理論では「人間が持つさまざまな性格は、5つの要素の組み合わせで構成される」と考えます。

パーソナル分析（性格分析）ができると考えられるようになったのも同時期です。それ以前は、パーソナル分析（性格分析）とされるものは重要視されていませんでした。1980年代にパーソナリティ（性格）という概念が発現し、パーソナリティ分析により行動予測ができると考えられるようになります。

実はビッグファイブ理論以外にも、パーソナル分析（性格分析）に関する理論が同時期に登場しました。しかし、ルイス・ゴールドバーグ氏が特性5因子について発表したことを受け、他の理論も特性5因子に集約され、世界中で活用されるようになりました。

ビッグファイブ理論の活用方法

- ◎社内の営業チームを強化したいが、個人プレーヤーばかりだ
チーム力を上げたい場合、どの因子が必要？
- ◎目標達成ができないチームにはどの因子が必要？
- ◎自発性や突破力を上げるためにはどの因子が必要？
- ◎社外や他部署との関係性が弱いチームを強くするには、
どの因子が必要？
- ◎ブランディングや設計が弱いチームには、どの因子が必要か？

ビッグファイブ理論の特性5因子とは

ビッグファイブ理論は、誠実特性、調和特性、開放特性、外向特性、情緒特性の特性5因子の高低差によって性格を分析します。それゆえ5つの因子の高低差を見ることで、対象者の性格や特性を知ることが可能です。それぞれの因子については下記の通りです。

■ 誠実特性

誠実特性はセルフコントロールや責任感に関する因子です。



■ 調和特性

調和特性はチーム内でどのようなポジションで行動するかを示す因子です。



■ 開放特性

開放特性は、新しい経験に対する反応を示す因子です。チャレンジ力とも読み替えることができます。



■ 外向特性

外向特性はコミュニケーションや、新しい人との出会いなどにポジティブなことに対して、どのような反応をするかを示す因子です。



■ 情緒特性

情緒特性は、ネガティブなことに対する反応を示す因子です。

